

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年01月11日

計画の名称	蒲田駅周辺再編プロジェクト												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	大田区												
計画の目標	<p>蒲田駅では、羽田空港国際線の増便や羽田空港の跡地開発計画、京急電鉄の連続立体交差化事業に伴う第一種市街地再開発事業の完了などによって、観光客や施設利用者による駅利用者が増加傾向にある。</p> <p>一方、震災復興の土地区画整理事業によって形成された蒲田駅周辺の都市基盤のバリアフリー化を行ってきたが、駅前広場の再整備や駅の東西自由通路等交通結節点機能の向上が求められている。</p> <p>このような状況のなか、大田区都市計画マスタープランに基づき、蒲田駅周辺再編プロジェクトを作成し、課題解決の条件等を整理した。</p> <p>本計画では、交通結節点機能の核となる東西自由通路の歩行者空間改善のため、駅ビルの機能更新にあわせた東西自由通路の事業計画策定を目標とする。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	105	A	105	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成28年		平成32年
1	鉄道事業者等の関係者の合意のもと、整備計画を策定する。 蒲田駅東西自由通路整備計画策定	0計画	計画	1計画
2	蒲田駅周辺では、観光客や施設利用者の増加が見込まれることから、JR・東急蒲田駅の自由通路の確保し、サービス水準の向上に努める。 自由通路をサービス水準Aを確保する 1分当たりの交通量(人/分)÷有効幅員(m) 27人/m・分【サービス水準A(27人/m・分以下)】	43人/m・分	人/m・分	27人/m・分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
整備計画策定後、サービス水準Aとなる目標値を定め、自由通路完成後に達成する。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	大田区	直接	関係事業者 ・大田区	-	-	蒲田駅周辺再編プロジェクト	東西自由通路及び駅周辺歩行者動線の検討業務	大田区						105		-
											小計						105		
											合計						105		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者二名による事後評価を実施した。	令和3年度10月
	公表の方法
	大田区ホームページ上に記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業継続中につき、効果の発現は計れない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・東西自由通路整備計画については、次期整備計画への継続事業とし、引き続き関係者と調整を図りながら検討を進めていく。 ・東西自由通路整備については、次期整備計画において着手予定であり、事業完了後に目標値の達成状況を検証し、最終的な事後評価を実施する。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	整備計画数		
	最終目標値	1計画	駅舎など東西自由通路以外の施設についても施設更新に向けた事業者との協議が進展したことから、それら施設の整備計画と整合を図るため、事業を2年後ろ倒しすることになった。その結果、令和4年度まで事業を継続して行うため、現時点では、未達成となっている。
	最終実績値	0計画	
歩行差サービス水準			
2	最終目標値	27人/m・分	整備計画策定後、東西自由通路整備に着手となる。現在は整備計画策定中であるため、効果は計れない。
	最終実績値	43人/m・分	